

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよんきっず 中川教室		
○保護者評価実施期間	令和 5年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 5年 10月 1日		～ 令和 6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 11月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室内の設備、環境、生活空間が分かりやすく分けられており活動内容に応じて部屋を使い分ける事が出来る。清潔な空間で安心して活動に取り組みやすくなっている。	活動に集中出来るよう、玩具やいらぬ物はプレイルームにまとめると環境整備を行っています。毎日の消毒や清掃を丁寧にいき清潔感を保っています。	清潔で安心して活動出来る空間を保つために、日々清掃や消毒、整理整頓を心がけ気持ちの良い教室を維持してきます。
2	様々なプログラムに取り組み、5領域に沿った活動をバランスよく支援に取り入れ、児童たちが飽きる事無く楽しんで活動に参加する事が出来ている。	職員全員でプログラム案を提案したり、季節に合った行事やイベントを開催し子供たちが「行きたい」「やってみよう」とわくわくするようなプログラムを準備するよう心掛けています。	子供たちがやってみようプログラムや、行ってみたい場所、保護者様が体験させてみたいイベントなどアンケートを取りプログラムに取り入れ満足度を更に上げていきたいです。
3	保護者会や児童の兄弟などが参加できるイベントを開催し、保護者同士の交流や兄弟との関わりを持つ機会を作り	保護者会ではあまりかしまった雰囲気にならない様、季節の行事を織り交ぜるなど楽しんで参加出来るよう工夫を行っています。	2024年度は1度しか機会を作る事が出来なかったため、年に2回を目指して企画していきたいです

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他保育園や他事業所、地域の方との交流や障害のない子供と活動をしたり教室に招待したり等、開かれた事業運営を行っていくこと	平日のみの営業の為、他の小学校や事業所との関わりを持ってイベントなどを開く機会を持っていません。長期休暇などを利用して他事業所とも関わりを持ってよう日頃から繋がりをもち提案していきたい	長期休暇などを利用して他事業所とも関わりを持ってよう日頃から繋がりをもち提案していきけるよう様々な機関と連携をとる必要があると感じています。
2	保護者の対応力の向上を図る為、研修会など家族支援に力を入れていきたい	ペアトレーニングを行える専門知識のある職員が居ない為、職員の質向上に向けた研修などを行う必要がある	保護者の困りごとや家族支援など、ニーズに合った助言が出来るよう事前に研修などを受け保護者会や研修会を実施していきたいと思っております。
3			